戦争と無権利の時代、
反戦と主権在民を掲げ闘い斃(たお)れた
若き女性の真実の物語！

未来に生きる意味を問う映画・・・・
いよいよ製作開始！

劇映画

こころざしつつたふれし少女よ

伊藤千代子の生涯

総監督●桂壮三郎　原案●「時代の証言者 伊藤千代子」藤田廣登（学習の友社・刊）
プロデューサー●桂壮三郎　脚本・監督●宮負秀夫
企画・製作●劇映画「伊藤千代子の生涯」ゴーゴービジュアル企画

2020年完成予定・全国公開！

賛同●治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟中央本部

発見された
千代子在学当時の東寮個室

当時の東京女子大学
（千代子、社会科学研究会結成に参加する）

千代子の学籍簿
（仙台・尚絅女学校時代）

千代子が学んだ頃の仙台・尚絅女学校

小学校代用教員時代の千代子

語らへば眼かがやく処女等に思ひいづ　諏訪女学校にありし頃のこと
清き世をこひねがひつつひたすらなる　処女等の中に今日はもの言ふ
芝生あり林あり白き校舎あり　清き世ねがふ少女あれこそ
まをとめのただ素直にて行きにしを　囚へられ獄に死にき五年がほどに
こころざしつつたふれし少女よ　新しき光の中におきておもはむ
高き世をただめざす少女等ここに見れば　伊藤千代子がことぞかなしき

土屋文明（アララギ歌人）『アララギ』1935年11月号「某日某学園にて」

ものがたり

時は、第一次世界大戦からロシア社会主義革命・米騒動・関東大震災と明治・大正末期から昭和初期の激動の時代。伊藤千代子は諏訪で土屋文明の教育を受ける。当時の日本は、天皇の絶対的専制政治のもと、国民は「天皇の臣民」とされ、貧困と無権利状態におかれていた。そんな社会の不公正に目覚める千代子だった。

千代子が東京女子大に入る頃、稀代の悪法治安維持法が公布され言論弾圧がますます激しくなる。この歪んだ社会を変革しなければいけないと、千代子はその志から故郷での製糸工場の大争議を労農党の浅野晃とともに支援活動を行う。

その浅野から求婚される。そして初の総選挙で応援した労農党が大飛躍。その飛躍の恐れから3月15日の大弾圧が起こる。千代子は検挙され刑務所に入れられ激しい拷問をうける。あらゆる弾圧にも屈せず、千代子は主権在民、侵略戦争反対など男女平等の社会変革の志を貫くのだった。

しかし、最愛の浅野晃の変節と裏切り、そして、非人間的な刑務所は千代子の身体と精神を徐々に蝕んでいくのだった……。

伊藤千代子顕彰碑
（1997年7月21日建立。諏訪市・龍雲寺霊園）

当時の市ヶ谷刑務所の正門前

伊藤千代子の生きた時代背景

明治維新は、封建制を倒して新しい社会へのトビラを開けましたが、天皇絶対の専制支配の下におかれ、自由と民主主義と社会平等を掲げて多くの国民が声を上げましたがことごとく抑圧されました。こうした富国強兵、大正、昭和へと続く侵略戦争の時代に、科学的社会主義に導かれた新しいタイプの青年男女が歴史の前面におどりでました。

一九二八年（昭和三年）三月、第一回男子普通選挙がおこなわれ、小林多喜二らは共同戦線をくんだ労農党の躍進を願い心おどらせながら運動に加わりました。侵略戦争に反対し社会変革をめざす共産党が公然と運動を開始したのはこの時です。政府は、こうした動きを抑え込もうと、治安維持法による凶暴な弾圧を加えてきました。多くの青年が困難に屈することなく闘い続け獄の中で青春を閉じました。憲法9条は、戦争に反対して斃れた青年たちのこころざしそのものです。

1925年2月治安維持法に反対する大集会

小林多喜二（1929年 小樽）

劇映画「伊藤千代子の生涯」に期待します

光のつよい星に

作家・九条の会呼びかけ人
澤地久枝さん

現在進行する政治の劣化は、「歴史はくりかえす」の思いを強める。だが、私たちの側は忘れてはならない「人の暦」をもっている。1928年の 3.15事件で検挙され、拷問に耐え、24歳しか生きられなかった伊藤千代子は、その暦の中の輝く星のひとつである。獄中、党幹部である夫の転向に直面、それでも志を変えなかった千代子。冷酷な獄中で精神に変調をきたしたあと命絶える。歌人で恩師の土屋文明は千代子を歌い讃えている。私たちは忘れない 千代子の志を、今こそ悪政否認の盾を強化しなければならないと。

民衆の幸せのために

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟
中央本部会長
増本一彦さん

千代子は、東京女子大に学び社会変革の思想を身につけます。そして、天皇主権の政治体制を両性の平等にもとづく国民主権の政治に変えるために、権力の弾圧が集中する共産党に入党して、3.15事件で逮捕され、党中央の仕事をしていたことから激しい拷問を受けます。彼女を指導した幹部や夫にも裏切られるという悲劇のなかで、ただひたすら「民衆の幸せのために」と、不屈に闘い抵抗したのです。この千代子の生涯がどう映画で描かれるか、楽しみです。

劇映画「こころざしつつたふれし少女よ 伊藤千代子の生涯」2020年 完成予定・全国公開！

**映画・演劇人
豪華キャスト出演予定!**

劇映画「伊藤千代子の生涯」製作への ご支援をお願い申し上げます

映画製作には多大な製作費が必要となります。製作を確実なものにする為に製作支援の上映債権を普及する製作運動を提起致しました。皆様の暖かいご支援を心からお願い申し上げます。

劇映画「伊藤千代子の生涯」ゴーゴービジュアル企画　総監督：桂壮三郎

上映会1回の上映債権10万円（製作支援）の販売

映画鑑賞者200名迄の上映会の上映債権

映画鑑賞者200名迄の上映会の上映債権を10万円で販売します。入場者が200名を超える場合は、1名ごと1,000円の入場料として映画会社と精算します。
（なお、清算方式は映画会社 60%・上映主催者 40%の取り分とします。）

例1.＝動員200名以下の場合、上映債権100,000円のみ
例2.＝動員250名の場合、上映債権100,000円＋（超過動員　50名×1,000円）×60%＝30,000円を映画会社に映画料として支払う
例3.＝動員300名の場合、上映債権100,000円＋（超過動員100名×1,000円）×60%＝60,000円を映画会社に映画料として支払う

上映債権（製作支援）についての条件

1. 1日数回上映の場合、又は、上映会場の数ヵ所の場合は映画会社へご相談ください。
2. 上映会に係わる経費は全て主催者の負担。
（会場費・映写技師経費・宣伝材料費・印刷費・雑費等）
3. 宣材（ポスター・ちらし・写真類）の有料の譲渡・物販（公式プログラム）の有料の譲渡。
4. 上映債権の有効期間は、本映画の最初の公開から3年間となります。
5. 製作資金を賄うため、全国で上映債権を800口普及致します。

上映債権（製作支援）の特典

1. 映画エンデングクレジット・プログラム等への表記（希望者のみ）
2. キャスト・スタッフとの懇親会（要相談）
3. 監督・プロデューサーとのシナリオ検討会 / シナリオの贈呈（要相談）
4. 製作側が主催する完成披露試写会へのご招待

お問い合いわせ・お申込先

劇映画「伊藤千代子の生涯」ゴーゴービジュアル企画
〒359-1146 埼玉県所沢市小手指南2-23-11 電話04-2968-4385
FAX 04-2995-7911　メール gogo@ggvp.net　携帯 090-8502-9260（桂）

上映債権（製作支援）申込方法

下記の申込書に記入し、郵便・FAX・メールでお申し込みください。
お申し込み頂きましたら、製作側から確認のご連絡をさせて頂き上映債権の手続きに入ります。

郵送の際の切り取り線

上映債権（製作支援）申込書

劇映画「伊藤千代子の生涯」上映債権（製作支援） □　円　を申し込みます。	お申し込み日 年　月　日
お名前&団体名 団体様の場合は担当者様のお名前もお書き下さい。	フリガナ
ご住所	〒
電話番号	TEL
ファックス	FAX
Eメール	